

平成30年度 さいたま市立三橋中学校 学校だより



# 架け橋

第5号

(平成30年7月20日発行)

ホームページ: <http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail: [mihashi-j@saitama-city.ed.jp](mailto:mihashi-j@saitama-city.ed.jp)

学校教育目標 : ゆたかに・かしこく・たくましく

## やり抜いた先にあるもの

校長 永岡 良規

早いもので、今日で1学期が終了し明日から待ちに待った夏休みに入ります。先日、さいたま市教育委員会の方が来校した際に、「部活動の生徒さんが自主的に駐輪場を案内してくれました。」と感心していました。このように、いろいろな場面で子ども達の成長を感じることができて嬉しく思っています。

ところで、明日からの夏休みをみなさんはどう過ごしますか。3年生の中には、部活動において、県大会の戦いが残っている人や発表会や展示会に向けての最後の仕上げが残っている人などもあります。しかし、3年生にとって、今までの夏休みと大きく違うのは受験勉強を本格的にスタートすることでしょう。半年以上先の高校入試に向けての準備に、まだ先の事とモチベーションが上がらない人もいると思いますが、「夏を制する者は入試を制す」と言われように、この時期から準備を始めることが悔いなく入試を終えるためにとても重要になります。

1・2年生。特に運動部は新人体育大会に向けて、この夏休みの練習はとても大切になります。暑い中での練習にくじけそうになることもあるでしょう。ぜひ、周りの部員と励まし合いながら、自分たちの目標達成に向けてつらい練習を乗り越えてください。

『成功するかしないか』は『成功するまでするかしないか』で決まる。やり抜いた先にあるのが成功なのだ。』

これは、現役時代には鉄人と呼ばれ、連続試合出場の世界記録を打ち立てた元プロ野球選手、衣笠祥雄さんの言葉です。厳しくそして重みのある言葉です。

みなさん一人ひとりが取り組むべきことは異なりますが、一人ひとりが『成功するまでするしかない』という粘り強く挑戦し続ける気持ちを忘れずに、大きな目標に向けての自分に挑戦する夏休みにしてほしいと思います。

今年の三橋中のキーワードの一つが『粘り強さ』です。この夏休み、みなさん一人ひとりが『粘り強く挑戦できた』という体験を通して成長し、2学期を迎えてほしいと思います。